

## 取組の方向性

### I 水道システム最適化に向けた施設整備と運用・管理

#### I-1. より安全で効率的な水道システム構築に向けた施設整備と運用

- ① **浄水場の増強と管路等の整備**
  - 水道システムの最適化に向けて、暫定事業である寒川事業のあり方も踏まえ企業団浄水場の増強と管路の整備等を進めます
- ② **効率的かつ安定的な水運用と原水の確保**
  - 通常時の効率的な水運用のみならず災害など非常時における供給継続のため、取水位置の上流移転と自然流下を優先した水道システムへの移行について検討・協議を進めます
  - 安定的に原水を確保するため、関係機関と連携してダム及び堰の貯水・取水機能の維持に取り組みます
- ③ **浄水処理と水質管理の強化**
  - 多様化する水質課題に、より迅速かつ確実に対応するため、効果的な浄水処理方法を検討するとともに、水質管理体制を強化します
  - 5事業者の水道水の品質管理水準をさらに向上するため、広域水質管理センターの取組みを推進します

#### I-2. 施設の健全性を保つための点検と計画的な修繕・更新

- ① **効率的な点検と計画的な修繕・更新**
  - 計画的に修繕・更新を進めていくため、効率的な点検を実施するとともに、点検データを活用して水道施設の健全性を的確に把握する取組みを進めます
- ② **施設の維持管理性向上**
  - 水の供給を停止することなく、点検や修繕・更新を実施できるよう、施設の配置や構造の改良などに取り組みます

### II 自然災害や多様なリスクへの対応強化

- ① **自然災害・多様なリスクに備えた施設整備**
  - 地震・風水害などの自然災害や大規模停電・テロ等の多様なリスクに備えるため、耐震化や浸水対策などの必要な施設整備に取り組みます
- ② **組織対応力及び関係者との連携の強化**
  - 被災・事故発生時に速やかに対応・復旧できるよう、組織の対応力を強化するとともに、構成団体をはじめ、他の水道事業者・関係機関・民間事業者などの情報共有・連携の強化を図ります。

### III 経営基盤の強化

#### III-1. 将来を見据えた財政・事業運営

- ① **長期的な視点に立った財政運営**
  - 施設整備を計画的に実施するため、事業費の平準化やその財源確保など、長期的視点に立った財政運営を行います
- ② **事業環境の変化に応じた事業運営**
  - 事業環境の変化に対応しながら、スリムで効率的な事業運営を図るため、組織体制や既存業務の見直しを進めるとともに、民間活力や様々な契約手法の導入などに取り組みます

#### III-2. 事業推進に必要な人材の確保・育成と職場づくり

- ① **人材の確保・育成**
  - 事業の推進を図るため、様々な採用手法や人事交流などにより必要な人材を確保するとともに、水道職員としての専門的知識と技術をもち、通常時のみならず、災害など非常時においても自ら考え行動できる人材を育成します
- ② **働きやすい職場づくり**
  - 全ての職員が健康的で能力を充分に発揮して職務を行えるよう、働き方の見直しや職場環境の整備などを進めます

### 取組みにあたり重視すべき視点

- **環境への貢献**・・・地球温暖化対策や水源環境の改善により、持続可能な水道事業の実現に取り組みます。
- **先端技術の導入**・・・AI・ICTなど先端技術の導入により、既存手法に捉われない発想と視点をもって業務の効率化に取り組みます。
- **多様な関係者との連携協力**・・・構成団体をはじめ、他の水道事業者・関係機関・民間事業者などとの連携協力により、企業団単独では困難な課題の解決に取り組みます。
- **分かりやすい情報の発信**・・・企業団の役割などについて、ホームページやイベントなどにより、分かりやすい情報を発信し、企業団事業への県民・市民の理解促進に取り組みます。